

機関・団体：北海道大学大学院 農学研究院  
准教授 愛甲哲也

資料7

○活動の場所を教えてください。(位置図などあれば添付願います)

- 1:雲の平、裾合平、トムラウシ南沼
- 2:旭岳温泉、姿見、黒岳山頂、石室、トムラウシ温泉、短縮登山口、銀泉台、高原温泉

○活動の時期を教えてください。

- 1:2019年7月29日～8月28日
- 2:2019年7月21日～9月22日

○活動の具体的な内容を教えてください。

- 1:侵食防止マットの施工による高山植生の回復の調査
- 2:大雪山グレード、携帯トイレ普及宣言、ヒサゴ沼避難小屋改修の情報提供の認知度、情報源に関する意識調査

# 1 : 調査地

調査地

## 大雪山国立公園

➤ 旭岳  
裾合平



➤ 黒岳  
雲ノ平



➤ トムラウシ山  
南沼指定野営地



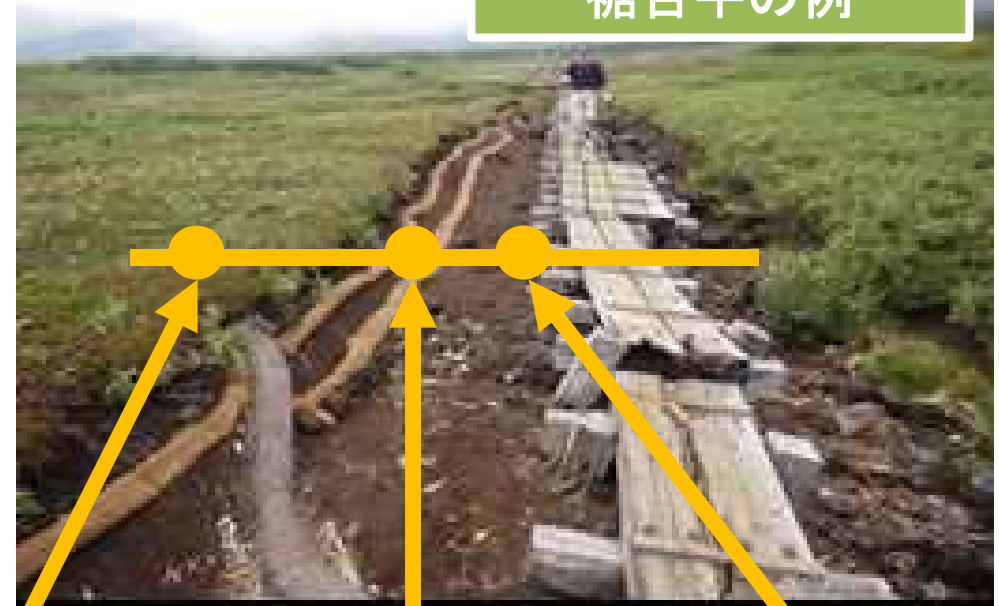
# 1：方法

登山道と直行するベルト状の調査区上に50cm四方の方形枠を2～7箇所設置

## 調査項目

- 植被率
- 各植物種の被度
- 実生個体の個体数
- 実生個体の大きさ
- 傾斜

裾合平の例



コントロール区



ネット施工区



非施工区

# 1 : 植被率の比較

	コントロール区	マット施工区	非施工区
裾合平	93.42 ± 2.11	1.00 ± 0.00	1.63 ± 0.69
雲ノ平	39.44 ± 11.40	1.36 ± 0.84	0.00 ± 0.00
南沼指定野営地	90.42 ± 4.10	7.67 ± 2.54	10.00 ± 4.71

平均(%) ± 標準誤差

## 2：アンケート調査方法

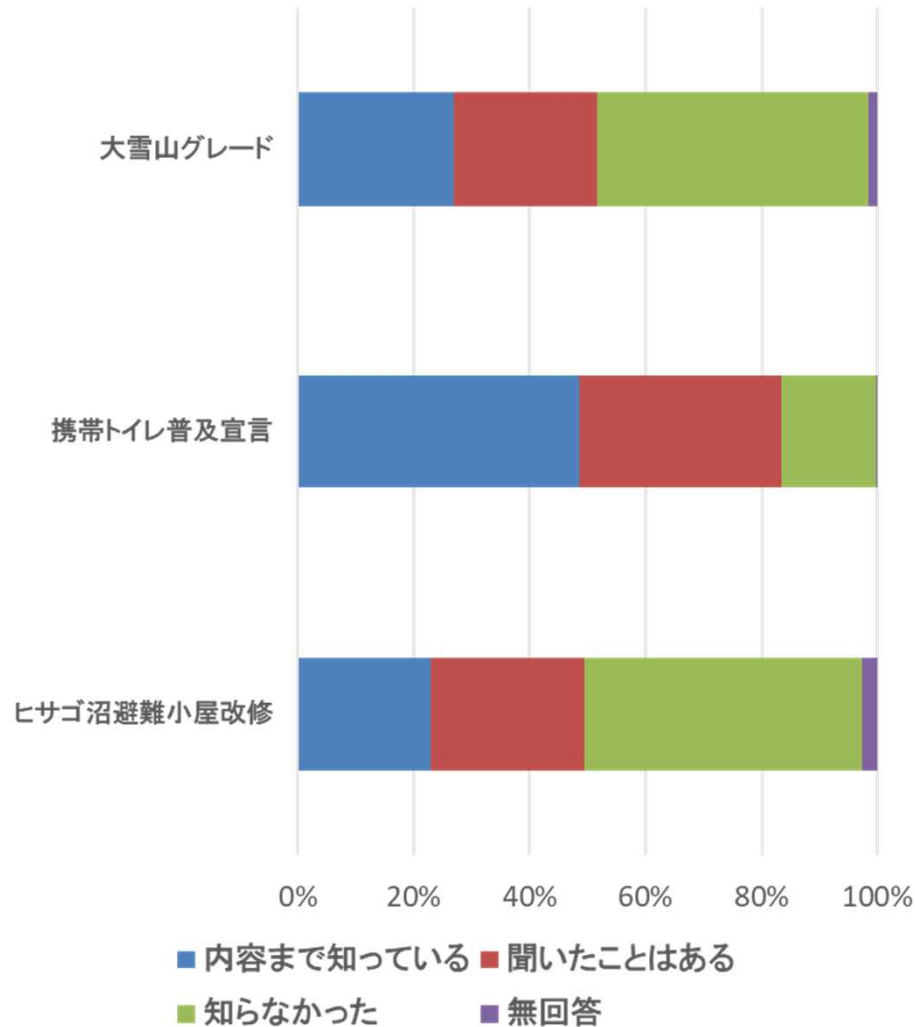
本年7月から9月にかけて、大雪山国立公園内の6か所において登山者を対象とした郵送式のアンケート調査を行った。

配布地	配布数	回収数	有効回答数	回収率	有効回答率
旭岳	160	75	75	46.9%	46.9%
黒岳	120	55	55	45.8%	45.8%
トムラウシ山	168	82	82	48.8%	48.8%
銀泉台	200	77	70	38.5%	35.0%
高原温泉沼巡り	202	84	74	41.6%	36.6%
旭岳ビジターセンター (山の日イベント)	60	32	31	53.3%	51.7%
合計	910	405	387	44.5%	42.5%

合計の回収数は405部、まったく回答していないページがあるものを無効とし除外した結果、387部の有効回答を得た。

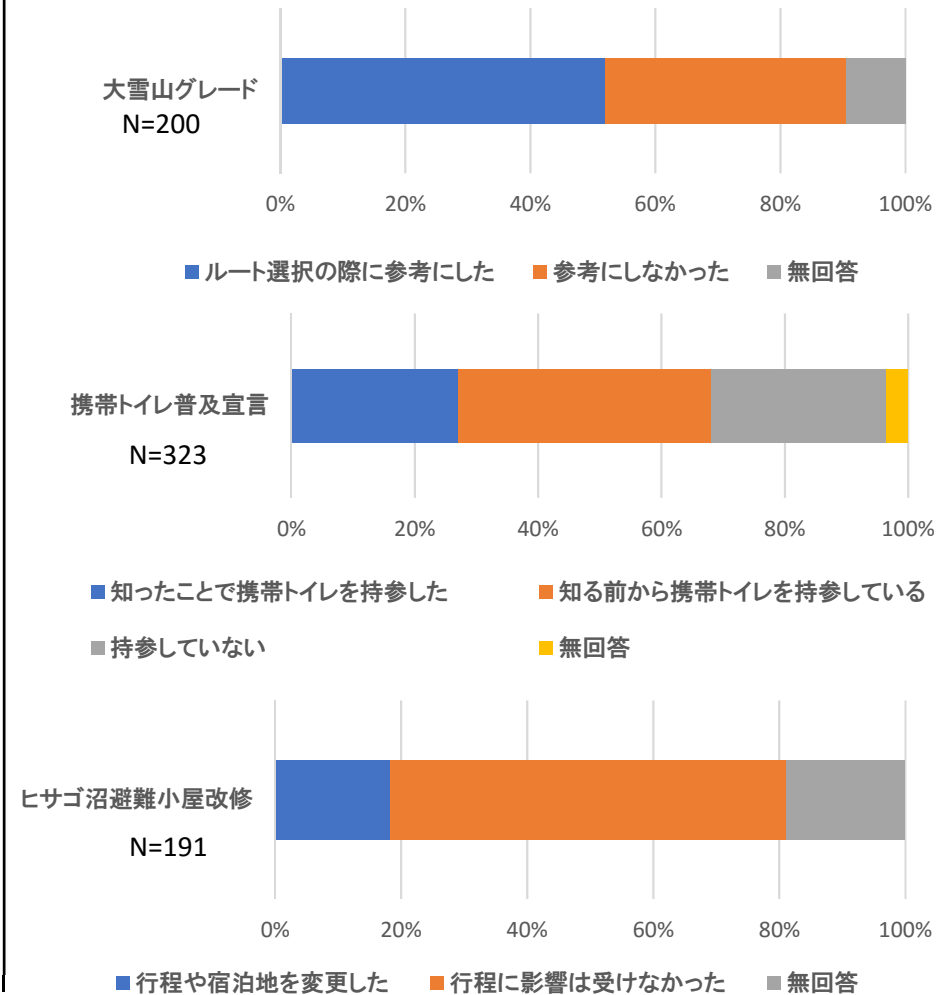
# 2：認知度・影響度

取り組みの認知度 N=387



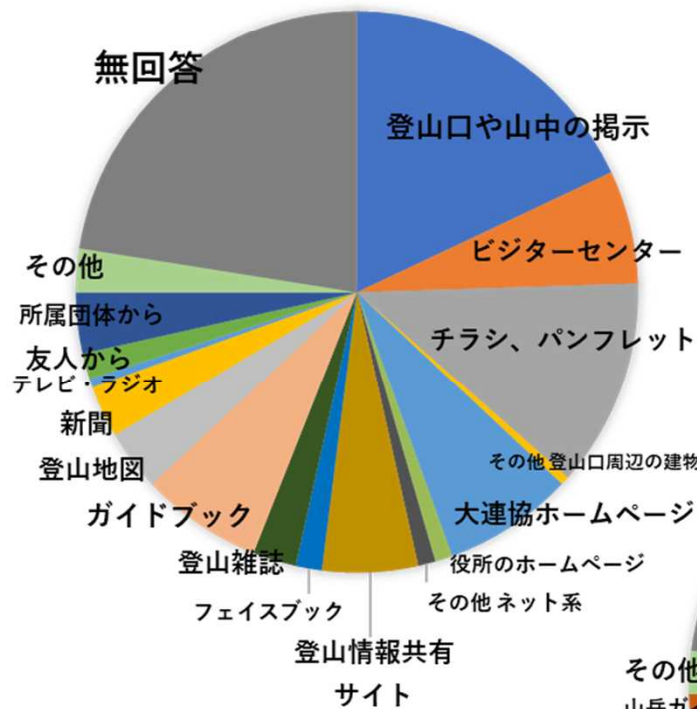
取り組みの認知が登山者に与えた影響

※ 回答の対象は取り組みについて「内容まで知っている」もしくは「聞いたことはある」と答えた登山者

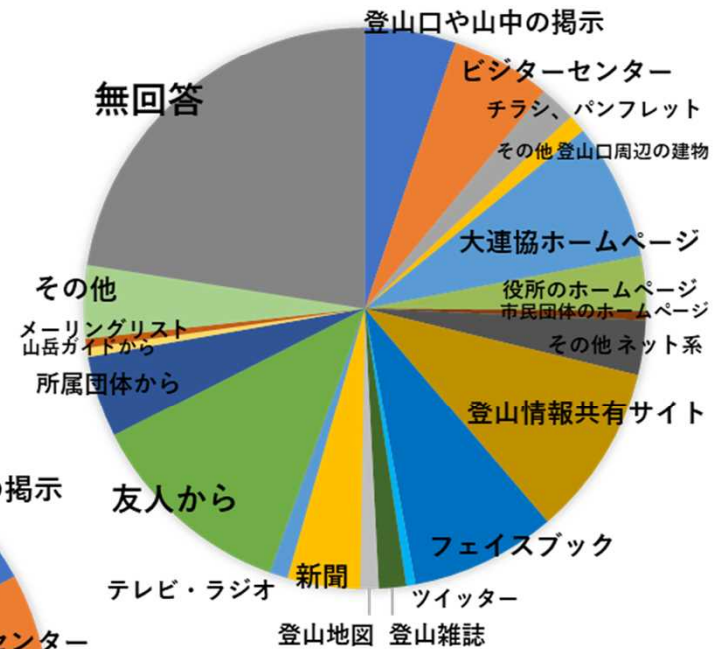


# 2: いちばん最初に知った情報源

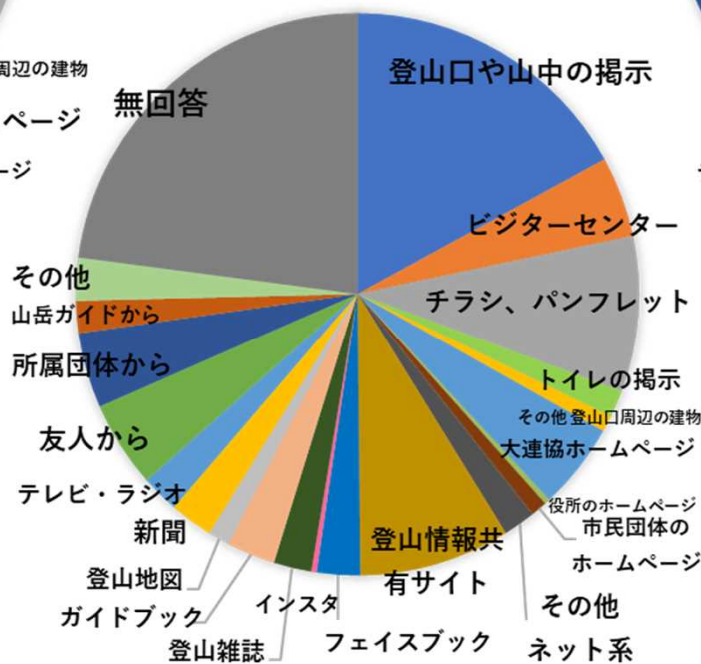
大雪山グレード  
N=200



ヒサゴ沼避難小屋改修工事  
N=191

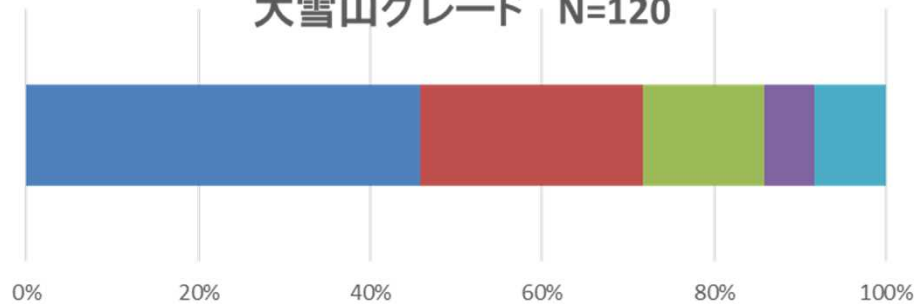


携帯トイレ普及宣言  
N=323



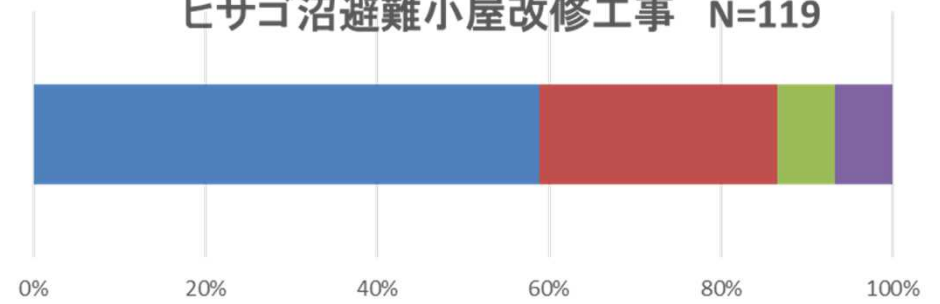
# 2：知った時期

### 大雪山グレード N=120



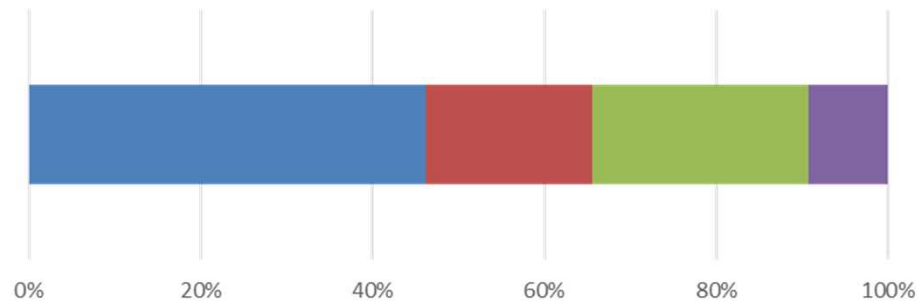
- 今年の登山シーズン(今夏6月～9月)
- 山と溪谷の別冊付録に大雪山グレードが登場して以降(2017年12月～今年5月)
- 大雪山グレードが正式に発表されて以降(2015年6月～2017年11月)
- 大雪山グレードが発表される以前(2015年5月以前)
- 区分不能

### ヒサゴ沼避難小屋改修工事 N=119



- 今年の登山シーズン(今夏6月～9月)
- 工事について告知されてから登山シーズンに入るまで(今年3月～5月)
- 工事について告知される前(今年2月以前)
- 区分不能

### 携帯トイレ普及宣言 N=195



- 今年の登山シーズン(今夏6月～9月)
- 普及宣言発表後(昨年7月～今年5月)
- 普及宣言発表前(昨年6月以前)
- 区分不能